

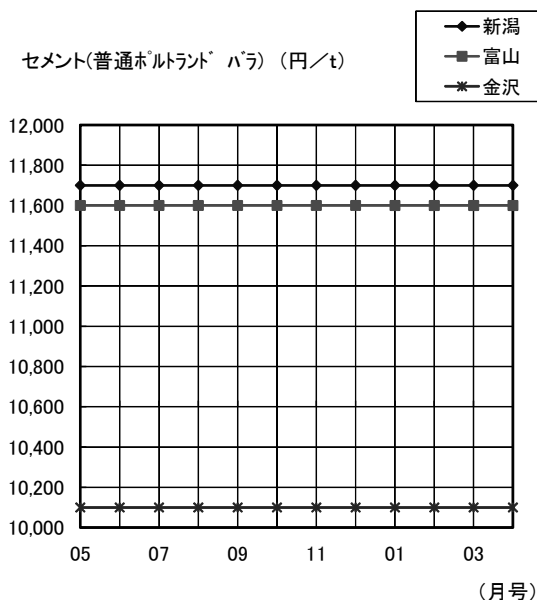
5. 主要建設資材の市況

記事提供：(一財)経済調査会 北陸支部

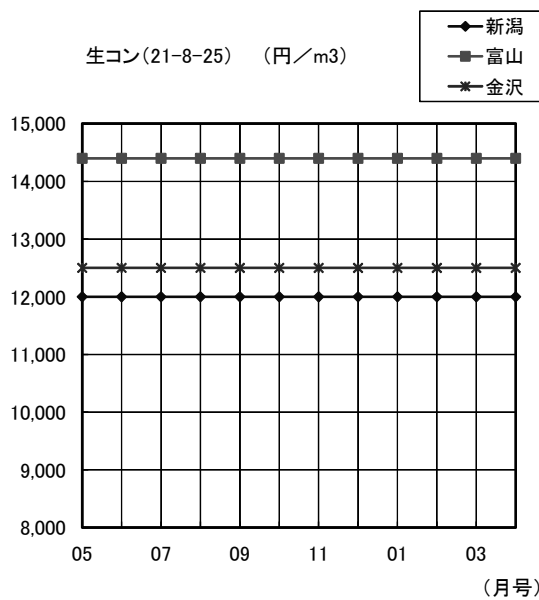
品目	1～3月期の状況と現況	先行き
セメント	<p>横ばい推移</p> <p>【新潟県】上越地区においては上信越道拡幅工事向けを中心に堅調な荷動きが見られるものの、下越・中越地区では精彩を欠いている。大口需要者である生コンクリート、コンクリート二次製品メーカーからは値下げを求める動きも散見される。一方、セメントメーカー各社は、平成25年以降に打出した値上げに未達分があるとして、値下げには応じない構え。目先、現行水準を横ばいで推移する見通し。</p> <p>【富山県】メーカー各社は、継続して値上げの意向を示しているものの、荷動きが冴えない中で販売側も売り腰は強められない状況。先行きの需要環境に不透明感が強いことや、主たる需要先である生コンクリート市況に値動きがないことから、交渉の材料を欠く展開が続くとの見方が強い。先行き、横ばいで推移しよう。</p> <p>【石川県】主たる需要者である生コンプラント向けの出荷が低調であることから、セメントの荷動きも冴えない。こうした中、販売側では採算悪化を危惧する一方で、需給は引き締まりに欠く展開が続いており、依然として価格を高唱えする環境にはないと見る向きが多い。目先、横ばいの見通し。</p>	<p>(パ)物)</p> <p>(新潟) ➡</p> <p>(富山) ➡</p> <p>(金沢) ➡</p>
生コンクリート	<p>石川県七尾地区で上伸</p> <p>【新潟県】新潟地区においては、公共では港湾のブロック製作、民間ではマンション等の継続物件が主体で、1月以降も新規物件に乏しく荷動きは盛り上がり欠いている。販売競争から安値玉も散見されるが、新潟生コンクリート協同組合では、管理コストの負担増から非組合員との価格競争には参入せず、採算重視の姿勢を崩していない。29年度の需要見通しは前年度を下回ると見る向きが多く、出荷量確保のためには非組合員との競合は避けられないとの見方も出ている。先行き、弱含み。</p> <p>【富山県】原材料のセメント、骨材類において販売側の一部から価格引き上げの要望が出ているものの、具体性に欠くことで生コンメーカー側は受け入れておらず、生コン製造原価への影響はいまのところ見られない。このため、県内の各生コンクリート協組における価格改定の動きは見送りが濃厚となっている。先行、横ばいで推移する見通し。</p> <p>【石川県】県内の生コン需要は、南加賀地区で北陸新幹線の延伸工事向け出荷が好調であるが、他の地区では官民ともに引き合いが乏しく、前年度割れで推移している。こうした中、販売側の不採算が続いていた七尾地区において、七尾地区生コンクリート協同組合では市況の底げとしてm3あたり800円方の値上げを打ち出し、3月に価格の上伸を示した。各協組は共同販売事業を軸とした現行価格維持を図る構えで、先行き、横ばいで推移する公算が高い。</p>	<p>(21-8-25)</p> <p>(新潟) ➡</p> <p>(富山) ➡</p> <p>(金沢) ➡</p>
骨材	<p>横ばい推移</p> <p>【新潟県】補修や修繕工事の小口物件が主体で、荷動きは冴えない状況が続いている。販売側では、出荷量が落ち込み利幅は減少しているものの、値上げを唱えるには難しい状況との見方から、足並みを揃えて数量優先の安値販売を回避し、現行価格水準を維持する姿勢を見せている。価格交渉の場面も少なく、先行き、横ばいで推移しよう。</p> <p>【富山県】路盤材需要の中心は再生材となっており、荷動きは冴えない状況が続いている。特に降雪期は工事発注が少なく、取り引きはまばら。そのため、販売側も価格交渉を本格化させる動きは今のところ見られず、価格は横ばいで推移。こししばらくはこうした状況が続くそうで、先行き横ばいの見通し。</p> <p>【石川県】金沢から福井に向けた北陸新幹線延伸工事向けの引き合いが活発化している。路盤材需要は再生材の引き合いが主体であるが、建築解体工事の減少に伴いRC材が不足する場面が多いことから、代替品としての新材の出荷も目立つ。こうした中、一部の販売業者は需給の引き締まりを背景に、価格の引き上げを求めているものの、購買姿勢の厳しい需要者の反発は強く、交渉は進展していない。目先、横ばいで推移しよう。</p>	<p>(C-40)</p> <p>(新潟) ➡</p> <p>(富山) ➡</p> <p>(金沢) ➡</p>










【価格推移】

セメント(普通ポルランド パ) (円/t)



生コン(21-8-25) (円/m3)



品目	1～3 月期の状況と現況	先行き
棒鋼	<p>3県で相場上昇</p> <p>【新潟県】昨秋からの鉄屑価格の上昇を背景に、製販ともに強い販売姿勢で交渉に臨んでいる。市中の安値は払しょくされ、値上げ額の一部が浸透し、1月にt当たり3,000円、2月にt当たり1,000円の上昇を示した。製販側は引き続き、値上げの積み残し分の転嫁を進めたいとの意向を示している。しかし、鉄屑は新年度に入ってから輸出が振るわず、需給の緩和を背景に価格が反落しており、需要者には様子見のムードが台頭している。当面、現行値圏内を横ばいで推移する見通し。</p> <p>【富山県・石川県】昨年下半年より原料となる鉄屑価格の騰勢が強まり、価格が強基調に推移したことから、メーカーは強い姿勢で価格転嫁を押し進めた。仕入れ価格が上昇した流通筋も価格交渉の場で強気姿勢を崩さず、1月にt当たり2,000円の上伸を示した。製販側は引き続き上値を探っているものの、鉄屑価格が下げ局面にあるなかで、値上げ要素は乏しい。目先、横ばいで推移すると見る向きが多い。</p>	<p>(異形棒鋼)</p> <p>(新潟) </p> <p>(富山) </p> <p>(金沢) </p>
コンクリート二次製品	<p>新潟県で下落、石川県で弱含み</p> <p>【新潟県】道路工事は修繕の小口物件が中心で、荷動きも低調。こうした中、販売側の競合により3月に自由勾配側溝が2~3%、ボックスカルバートが5%の下落を示した。販売側では、市況統落への危機感から採算重視の姿勢が強まり、販売競争は沈静化しつつある。先行き、横ばいで推移しよう。</p> <p>【富山県】新設道路の工事が少なく荷動きは冴えない。販売側の一部では数量指向により安値玉が散見されるが、市況下落を懸念する大手販売業者が売り腰を引き締めており、市況は横ばい推移している。需要者が強引な値引き要求をする場面も少なく、先行き、横ばいで推移しよう。</p> <p>【石川県】官民ともに発注量が減少していることを背景に、需要者の指し値は強まる傾向にある。出荷減少に伴う固定費の負担増加を主張するメーカーも一部で見られるが、大方は販売数量の確保に向けた動きが強まっておりメーカー側の売り腰は弱く、足元の価格交渉は買い手主導で展開。需要好転の材料に乏しく、先行き、弱含みで推移する見通し。</p>	<p>(道路用製品)</p> <p>(新潟) </p> <p>(富山) </p> <p>(金沢) </p>
アスファルト合材	<p>横ばい推移</p> <p>【新潟県】需要は盛り上がりや欠く展開が続き、需要者側からの値下げ要求は恒常化しつつある。しかし、メーカー側では、主原材料であるスト・アス価格の上昇および出荷量減少に伴う固定費の負担増を背景に、安易な値引きには応じない姿勢を堅持している。目先、市況好転の材料に乏しく、現行値圏内を横ばいで推移する公算が大きい。</p> <p>【富山県】主原材料であるスト・アス価格が強基調に推移していることから、販売価格へ転嫁を図りたいとの意向を示すメーカーも見受けられる。しかし、先行きの需要環境に明るい材料がない中で、むしろ需要者側からの値下げ圧力は強まっており、メーカー側では現行価格の維持が精いっぱい状況。先行き、現行値圏内を横ばいで推移する見通し。</p> <p>【石川県】需要は官民ともに大口物件に乏しく、中小物件が主体となっている。需要者側の購買姿勢は厳しいものの、主原材料であるスト・アス価格が上昇したことで、引き続きメーカー側は現行価格の維持に注力する姿勢をみせている。先行き、横ばいで推移する公算が大きい。</p>	<p>(粗粒-20)</p> <p>(新潟) </p> <p>(富山) </p> <p>(金沢) </p>

【価格推移】

